

第9回地区庶務担当理事連絡協議会

(平成30年2月28日開催分)

△松井会長挨拶

国会では、働き方改革法案の審議が紛糾し、一億総活躍社会の実現が唱えられている現状下、医療界においても、男女に関係なく若手医師のキャリア形成とワークライフバランスを考えた医師の働き方を検討する時期にきているとの考えを示し、挨拶を締めくくった。

△報告ならびに協議事項

1. 最近の中央情勢について

1月下旬から2月中旬にかけての社会・医療保険状況について、中医協総会でかかりつけ医機能を持つ医療機関の初診への評価として、初診料への「機能強化加算」の新設が示されたこと、医療扶助における後発医薬品使用の原則化などを盛り込んだ生活困窮者自立支援法・生活保護法改正案が了承されたなどの話題を中心に説明した。

2. 地域医療構想調整会議の進め方について

平成30年2月7日付で、厚労省から各都道府県宛てに通知された「地域医療構想の進め方について」に示されている地域医療構想調整会議の協議事項や、個別の医療機関ごとの具体的対応方針の決定への対応について説明した。

3. 府医指定学校医の更新について

今年は3年に一度の一斉更新の時期であることを報告し、更新手順と今後の予定を説明した。

京都市立学校の学校医については、京都市学校医会が取りまとめて申請を行うものの、京都市外は地区医ごとの取りまとめを依頼しており、理解と協力を求めた。

また、3月初旬に各学校医宛てに更新申請書を送付するとし、京都市外の学校医については平成30年5月31日までに各地区医に提出を求めるとともに、地区医は6月初旬に取りまとめた更新申請書を府医へ提出するよう、協力を依頼した。

4. 医業経営セミナーの開催について

3月10日(土)に府医会館にて、「生前贈与」をテーマにセミナーを開催することを紹介し、会員の先生方への参加を募った。

5. 学術講演会の今後の予定について

3月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。

6. 春の府医懇親ゴルフ大会について

5月6日(日)に瑞穂ゴルフ倶楽部に於いて、府医懇親ゴルフ大会を開催することを案内し、各地区医師会へ4月10日(火)までに申し込みいただくよう呼びかけた。

7. 平成30年度診療報酬改定点数説明会の開催について

3月24日(土)・26日(月)・27日(火)の3日にわたり、各所で行われる「診療報酬改

定点数説明会」の詳細を説明し、多数の参加を呼びかけた。

8. その他

小野府医理事より、以下二つの会の案内を行った。

◇平成 29 年度（第 8 回）医学生・研修医をサポートする会

3月3日（土）に京都ホテルオークラにて、「医師の働き方改革 ～どうなる??医師のライフスタイル～」をテーマとして、医学生・研修医をサポートする会を開催することを紹介し、女性医師のみならず管理者の医師・男性医師・夫婦での参加を呼びかけた。

◇平成 29 年度（第 34 回）勤務医部会総会

3月11日（日）に府医会館にて、「医師の働き方改革 ～どうなる?医療提供体制～」をテーマに勤務医部会総会を開催することを紹介し、積極的な参加を求めた。

△地区からの協議事項

1. 被後見人である患者への関与で起こりうる事態に対する対応等について

大石豊下京西部医師会理事より、「高齢であったり、認知症といった問題により、キーパーソンにたりえない場合、成年後見制度がこれらの問題に道を開く一つの制度である。しかしながら、後見人がいる場合においても、様々な衝突やトラブルが想定され、府医では、このような問題への対応や対策等を検討されているか」との質問が出された。

禹府医理事は、現在、具体的な対策や対応は検討されていないとしつつも、今後、認知症の方への意志決定の支援が重要になってくるとして、必要に応じて検討していきたいとの考えを示した。

2. その他

正木淳中京西部医師会理事より、厚生局と府医が別々に開催している診療報酬改定説明会を一本化できないのかとの意見が出された。

濱島府医理事は、厚生局の説明会では、行政からの指導・通知を主とした内容となっており、府医は会員への情報として要点を絞った説明会で、立ち位置が異なるとして、別々での開催に対する理解を求めた。